

17-405 「魅力ある地域ブランドの作り方」 ～買ってみたい、行ってみたいと思われる商品・サービスづくり～

【研修のねらい】

日本の産業・経済の発展のカギを握る「地域活性化」を実現させるためには、地元の特徴ある地域資源や商品・サービスが「地域ブランド」として広く認知・評価されることが重要になります。

本研修では、支援機関がその土地ならではの商品・サービスの特徴や魅力を掘り起こして話題性を高め、集客や購買活動につながる地域ブランドを構築するための視点や支援の進め方について、事例を交えて学んでいただきます。

【時 限 表】

月日	時間	科目	内 容	講師（敬称略）	
11月27日 （月曜）	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション			
	9:30～12:40	地域の活性化と 地域ブランド	地域活性化を実現させるために支援機関に必要な視点や、地域ブランドの活用への取り組み方について、具体的な事例を交えて学んでいただきます。		
	13:40～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方創生における支援機関の役割 ・ 地元の活性化につながる地域ブランドの特徴 ・ 地域ブランドができるまでの流れ ・ 押えておきたいマーケティングの視点 		
11月28日 （火曜）	9:00～12:40	地域ブランドの 作り方・育て方	地元企業のユニークな商品や独自の取り組みに着目し、支援していくための視点や手順について、演習を交えて学んでいただきます。	株式会社SAKU 代表取締役 齊藤 久美	
	13:40～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の魅力の目利きのポイント ・ 新商品づくりと販路開拓への取り組み方 ・ 「ブランド」となるための条件 ・ 情報発信のポイントと成功例 ・ 行政主体のブランドづくりの課題 ・ 地域ブランドの構想づくり（演習） 		
11月29日 （水曜）	9:00～12:40				
	13:40～16:30				
	16:30～16:40	終講式			

※初日の講義終了後、受講者交流会（18：00～19：00）を予定しています。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

【講師紹介】 齊藤 久美（さいとう くみ） 株式会社SAKU 代表取締役

北九州市立大学専門職大学院 経営学修士。

1993年株式会社北九州丸食（現：株式会社サンリブ）に入社し、本社開発事業部で新規出店のマーケティング調査や計画づくり、オープニングにかけての一連業務に携わる。

1996年株式会社アーバン・マトリックス（北九州市）に入社し、都市計画・まちづくり、商業・観光・サービス業に関するマーケティングなどを担当し、九州地区の自治体・商工会議所の委託事業等を実施。

2009年に経営コンサルティング事務所を設立し、女性の視点を生かした中小企業向けの経営改善支援、新規創業支援、商店街支援やまちづくりなど、幅広い分野で活躍している。